



## 仏教

### 吉岡憲彦

インドで始まった釈迦を開祖とする宗教。南方に広まった上座部仏教は、釈迦の教えを純粹な形で保存してきたといわれ、タイ、ミャンマー、カンボジアの国民の9割前後が信仰している。これらの国では、歴史的にアートとの関係も深く、現代アート界では、仏教的哲学や思想を取り入れた作品で国際的に活躍したモンティエン・ブンマー（1953-2000年）がよく知られている。また、タイでは、現役で活躍するアーティストによる寺院建立も見られ、仏教とアートは、今なお濃密な関係にある。しかし、その関係は、必ずしも良好とは言いきれない。これらの国では、中国、日本、ベトナムなど、大乘仏教が広まった国に比べ、寺院・仏像・僧侶等の神聖性が高く、その侵犯には社会的制裁が下される。例えばタイでは、地方の美大生が描いたウルトラマンの仏像が不謹慎であり、仏教への侮辱であるとしてSNS上で炎上する事件（2019年）があった。ウルトラマンの顔の造形には、タイのスコータイ仏が参照されているとの説があるなか、逆向きの大膽な借用は今なお賛否両論を巻き起こし、そのたびに、信仰に関わる根本的な問いが交わされる。特に若い世代のあいだでは、仏教への信仰心を当然視できずに悩む人が増え、今や（タイ語に直訳できない）「生きがい」という日本語も議論の対象となってきた。



タイの民族叙事詩「ラーマキエン」を描いたバンコクの王宮寺院の壁画（一部）



モンティエン・ブンマー 《Zodiac of Houses》 1998-1999年  
(バンコク・アート・ビエンナーレ2018展示風景より)



チャルムチャイ・コーシットピパットが手掛けた白亜の寺院ことワット・ローンクン（タイ・チェンライ県）

出典: <https://www.flickr.com/photos/jlascar/50333655672/>



タイで物議を醸したウルトラマン・ブッダの絵画

## 関連リンク

- タイ王宮寺院（英語・タイ語） <https://www.royalgrandpalace.th/en/home>
- モンティエン・アトリエ（タイ語のみ） <https://m.facebook.com/MontienAtelier/>
- ワット・ローンクン（タイ語のみ） <http://www.xn--22cj2bwa1cwa8b3a2euie.com/>

- ウルトラマン・ブツダ論争（記事の例）

<https://www.bangkokpost.com/thailand/general/1745544/>